

# 令和4年度 「ハッピー♥スマイル」 第5回開催報告

【日 時】 令和5年3月19日（日）13時～

【場 所】 浅口市健康福祉センター  
ボランティア研修室

【参加者】 保護者5名 子ども1名 医師1名  
救急救命士1名 養護教諭1名



## 1 開 会

## 2 アレルギー情報提供

○クルミのアレルギー表示が義務に 25年春に完全施行 基準を改訂

朝日新聞  
DIGITAL

クルミによるアレルギーの症例数が近年増えていることを受け、消費者庁は9日、食品表示法に基づく食品表示基準を改正し、加工食品に表示を義務づけるアレルギー表示の対象にクルミを追加した。2025年4月1日から完全施行となる。

クルミはこれまで、表示が「推奨」されている21品目の一つだった。今回の改正で「義務」となり、卵や小麦などと合わせて義務表示は8品目となる。事業者による容器包装の変更などの対応のため、約2年の猶予期間を設ける。基準は症例数や重篤度によって随時見直されてきた。消費者庁がおおむね3年ごとに医療機関の協力のもと行っている実態調査によると、18年度調査で、クルミの症例数の順位が前回の8位から4位に急上昇し、その後の調査でも順位は変わらなかった。クルミの消費量が増加傾向にあることが一因ではないかとみられる。

### 2020年に発生した食物アレルギー 原因食物の内訳

即時型食物アレルギー  
についての調査(速報  
値)から。小数点第2位  
を四捨五入



○ 3月25日（土）79:56-20:54 西日本放送 「世界一受けたい授業」  
最新の研究でわかった！アレルギーの新事実 昭和大学准教授 鈴木慎太郎先生

○ 藤田医科大学総合アレルギーセンターの矢上晶子センター長が3月7日（火）日本テレビ「カズレーザーと学ぶ」に出演され、食物アレルギーのお話をされました。

※藤田医科大学総合アレルギーセンターのツイッターに

「知っておくと役に立つ、食物アレルギーのキーワード」がありました。

- 食物アレルギーは突然発症します。
- 知っておくと役に立つ食物アレルギーのキーワード

知っておきたいキーワード！



## 2 情報交換

- 自宅で朝、アナフィラキシーを起こしたが、手持ちの薬で軽快したので登校した。3~4時間たつて調子が悪くなり学校から連絡を受けた。二相性反応と考えて、エピペンの使用を頼んだが学校側は二相性反応を知らず、対応してくれなかった。大慌てで学校に行き子供さんを連れて病院を救急受診し、主治医の判断もアナフィラキシーで、すぐにアドレナリンを注射して事なきを得たとのことでした。職場と学校とかかりつけの病院が近いのが幸いでした。アナフィラキシーでは、二相性反応にも気をつけなくてはなりません。アナフィラキシーの症状が落ち着いた後、数時間してからアレルゲンへの接触なしに再度アナフィラキシー症状を呈することがあり、これを二相性アナフィラキシー反応と呼んでいる。報告はまちまちであるが、発生率は約6%位で、再発までの時間は数時間から10時間くらいで、最低でも4~5時間は油断できない。
- 保育園に新入園の子どもさんは、園ともいろいろと相談して安全安心を最優先に給食対応をしてもらえることになりました。園での生活に子どもさんが慣れるまでは除去食対応で、生活に慣れれば順次解除の方向になるようです。
- 令和5年度はコロナも落ち着きそうだし、アレルギー専門医による研修会も考えたいと思います。



今回も、何とか開催できました。次回は、**令和5年5月21日(日)** **浅口市健康福祉センター**で開催します。情報交換の予定です。新型コロナ感染症の状況により、中止するかもしれません。事前にホームページでの確認をお願いします。

(浅口医師会 高山晴彦)